

2012年に漂着した海棲哺乳類について

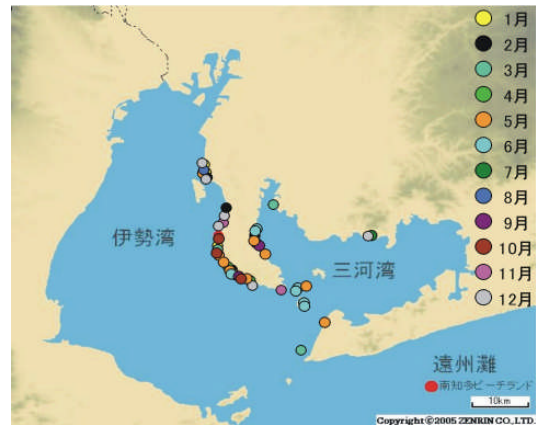
南知多ビーチランドが2012年1月から12月まで取り扱った海棲哺乳類は、合計46例でした。場所は伊勢湾30例、三河湾16例、遠州灘および河川はありませんでした(図1)。動物種は2種類で、スナメリが45例、コククジラが1例でした。性別は雄25例、雌12例、性別不明が9例でした。ストランディングの形態は、海岸への死亡漂着が43例、湾や港、施設への迷入が3例でした。迷入は、スナメリが2例、コククジラが1例でした。

月別の例数は、9月から12月にもストランディングがあり、すべてスナメリの死亡漂着でした(図2)。

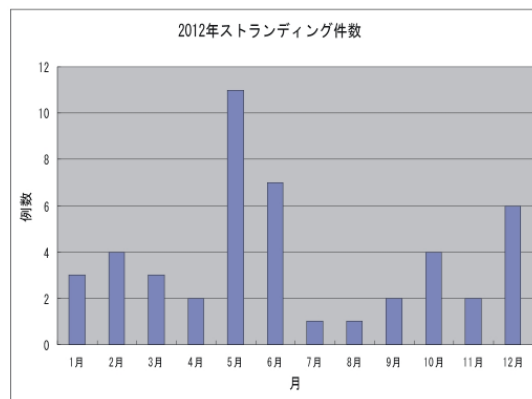
スナメリが迷入した2例のうち1例は、2月1日、河和港に迷入しました。当日の朝、(株)名鉄海上観光船から連絡があり、確認のため河和港に向かうと1頭のスナメリが泳いでいました(写真1)。スナメリの迷入とともに「ボラの群れが河和港に入ってきている。」という情報も併せてありました。現場に駆けつけると海中に銀色に輝くサカナの群れを確認することができました。どうやら餌であるボラを追って港の中に入り込んできたように思われました。その後しばらく観察していると港の防波堤を出たり入ったりしていました。自然界のイルカが港や海岸に近寄って来る場合はたいてい体調を崩していることが多いので、我々は、緊急保護することも考慮していましたが、杞憂に終わりました。更にしばらくしてもう1頭のスナメリが合流?して2頭が河和港の中で泳いでいました。このスナメリたちは、翌2日の朝8時以降は確認ができなかったので、無事港外に出て行ったものと思われました。

コククジラは、3月16日に(株)名鉄海上観光船から1頭の大型鯨類がいるとの目撃情報がありました。3月12日から師崎発伊良湖着のフェリー航路で目撃されているようで、

[図-1] 漂着箇所



[図-2] 月別例数



[写真-1] スナメリ



更にしばらくしてもう1頭のスナメリが合流?して2頭が河和港の中で泳いでいました。このスナメリたちは、翌2日の朝8時以降は確認ができなかったので、無事港外に出て行ったものと思われました。

早速、フェリーに乗船させて頂き、1回目の目視調査を行いました。その結果、伊良湖港のそばで1頭の大型鯨類を確認することができ、鯨種の鑑定を行うため写真撮影しました。鑑定の結果、コククジラであることがわかりました。3月29日には愛知県庁から佐久島沖で目撃の情報提供があり、翌30日に2回目の目視調査を行い佐久島周辺で写真撮影しました(写真2~4)。2回目の調査から1頭の大型鯨類を確認し、体側の傷跡から16日に目撃されたコククジラと同一個体と判定しました。2回の調査終了後、4月中旬にかけてマスコミを通じて情報収集に努めたところ渥美半島周辺の三河湾や伊勢湾で目撃の情報提供がありました。4月8日から13日にかけて田原市江比間町沖で目撃されたコククジラは同一個体と判定されました。さらに2010年4月に遠州灘で目撃され、写真撮影されていた大型鯨類がコククジラと判定され、その個体は、体の傷跡から今回目撃された個体と同一個体であると判定されました。以上の経緯からこの海域にコククジラが回遊している可能性が示唆されました。

今年(2013年)の3月には再びこのコククジラが伊勢湾や三河湾に来遊してくるかもしれません。もし、海でクジラを見かけたらビーチランドまでご連絡ください。(大池辰也)

[写真-2] コククジラの噴気



[写真-3] コククジラの背中



[写真-4] コククジラの尾びれ

